



山岳救助隊は堀信昭隊長（前列中央）を筆頭に12人で構成。



●合同出発式では、県交通機動隊がアトラクションで華麗な自バイ運転技術を披露。町交通指導員代表の内村健一さんが出発申告を行った後、自バイ隊を先頭に御船警察署のパトカー、上益城4町の青パトカーなどが次々と管内交通パトロールに出発した。

上益城消防本部が山岳救助隊を発隊



防災ヘリ合同訓練

9月27日、上益城消防本部山岳救助隊、水難救助隊、県防災消防航空隊（防災ヘリ）による合同訓練が県天君農地防災ダムで実施されました。

年々増加する山岳遭難事故に対応

上益城消防署で9月13日、山岳救助隊発隊式が行われました。県内で阿蘇に次ぐ専門的な隊として、これから活動を行っていきます。年々増加する山岳遭難事故に、即時対応できる体制を構築するのが一番の目的。荒木宗臣消防長は訓示で「我々消防は要請があればそれに立ち向かう技術と知識が必要。消防の基本である崇高な使命のもと、日々精進してください」と隊員を激励。堀信昭隊長が「念願の専門部隊が正式に発隊して身が引き締まる思い。隊員一丸となり強い誇りを持ち、日々訓練に精励し、職務を遂行します」と力強く決意表明し、隊員一人一人に隊員章が授与されました。続く展示訓練では消防署敷地内の訓練塔で展示訓練が行われました。

平成28年秋の全国交通安全運動



交通事故^{ゼロ}を目指して

9月21日から30日まで、秋の全国交通安全運動が実施されました。今年は子どもと高齢者の交通事故防止を運動の基本とし、①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、②後部座席を含めたすべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、③飲酒運転の根絶を重点目標に運動が展開されました。

合同出発式

9月20日、町カルチャーセンタールワイエで「平成28年秋の全国交通安全御船警察署管内合同出発式」が開催され、御船警察署や御船地区交通安全協会など、多くの関係機関が参加しました。藤本正幸町長は「安心で安全な町を作るのは私たち。事故を少なくするために頑張りましょう」とあいさつ。無事故無違反に努めた人や業者などが表彰された後、交通安全母の会会長の増田幸子さんが交通安全宣言を行いました。参加者は交通安全運動を積極的に推進することを誓い、管内交通パトロールに出発しました。

安全運転競技大会

9月22日、熊本バス教習所で「第14回御船警察署管内4町対抗安全運転競技大会」が開催されました。65歳以上のドライバーを対象に、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町の4町から40人が参加。御船町が団体の部1位、個人の部でも1位をとるなど、優秀な成績を収めました。

【団体の部】

1位 御船町

【個人の部】

1位 西橋 孝志（御船町）

2位 岩永 昭一（嘉島町）

3位 梶本不二男（御船町）
（敬称略）

安全運転 呼びかける

9月26日、上益城地域振興局で秋の交通安全運動街頭キャンペーンが行われ、参加団体がドライバー一人一人に安全運転を呼びかけました。



▲ドライバーに声をかける母の会



▲発隊式の展示訓練で、訓練塔から要救助者のもとへ降る隊員



▲合同訓練で、要救助者を山岳救助隊が救助している様子

◀合同訓練で、防災ヘリが要救助者を救助